

福井市足羽三山で確認された大型哺乳類 —ニホンザル*Macaca fuscata*、イノシシ*Sus scrofa*、ニホンジカ*Cervus nippon*—

出口 翔大*

Large mammals confirmed in Mt. Asuwa, Mt. Hachiman and Mt. Osagoe, Fukui City
- Japanese macaque *Macaca fuscata*, Wild boar *Sus scrofa*, and Sika deer *Cervus nippon*-.
Shota DEGUCHI*

(要旨) 市街地に囲まれた孤立丘陵である福井県福井市の足羽三山において2015年および2020年それぞれに雄と考えられるニホンザルを、2020年8月および9月に雄と考えられるイノシシを確認し、2022年には新たにニホンジカ雄1頭を初めて確認した。

キーワード：ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ

福井県ではこれまでに66種類の哺乳類が記録されており(出口, 2023), 福井市街地に残存する孤立丘陵、足羽山(標高約116 m, 面積約115 ha), 八幡山(標高131 m, 面積約51 ha), 兎越山(標高82 m, 面積約33 ha)から成る足羽三山では、これまでに18種類が報告されており(金剛, 2016; 出口, 2018), クマネズミ*Rattus rattus*とハツカネズミ*Mus musculus*(いずれも足羽山産の標本が当館に所蔵)を合わせた20種類が確認されている(金剛, 2016; 出口, 2018). 通常、足羽三山にクジラ偶蹄目などの大型哺乳類は生息しておらず、モグラ目やネズミ目、ネコ目などの小～中型哺乳類が主に生息している(内藤, 2010; 鈴木, 2015). しかし2015年～2020年に足羽三山において大型哺乳類であるニホンザル*Macaca fuscata*, イノシシ*Sus scrofa*が確認され、2022年には新たにニホンジカ*Cervus nippon*も確認された. その詳細をここに報告する.

ニホンザルは2015年4月30日15時台に足羽山ブナの道に設置したトレイルカメラによって1頭が撮影され(図1a), 同年10月2日正午12時頃にも福井市門前1丁目の足羽山麓において1頭が観察、撮影された(図1b). 当地において本種はこれまでに複数回確認されており、2013年9月27日にも目撃されている(金剛, 2016). また2020年8月および9月午前7時頃には兎越山の西側2カ所で1頭のニホンザルがトレイルカメラ(設置期間: 2020年8月1日～2021年2月)によって撮影された(図1c-e). ニホンザルは雌とその子、数頭の雄で構成される群れで行動し、雄は5～10歳になると群れを出ていわゆる“離れザル”として行動する(日高, 1996). 足羽山および兎越山において撮影された当該

個体も同一個体かは不明であるが、雄の“離れザル”であると考えられる. イノシシは2020年8月1日～2021年2月27日の間に八幡山に設置したトレイルカメラによって、8月24日に東側の神社跡と考えられる広場(図2a, b)と9月10日および19日に山頂広場西側の散策路の2カ所で確認された(図2c, d). いずれも夜間(20～23時頃)の撮影であった. イノシシは雌成獣とその幼獣で群れを形成し、雄成獣は単独で生活する(阿部, 2005). 写真撮影された個体は単独であったことから、同一個体であるかは不明だが雄である可能性が高い. イノシシは2014年11月5日にも足羽山において足跡が確認されているものの(金剛, 2016), 個体が撮影、記録されたのは本記録が初であると考えられる. ニホンジカは2022年9月27日午前10時頃に兎越山の北東で雄1個体が確認された(図3a). 本個体はしばらくその場に留まった後に、林内へと入り込んだために見失った. その後、10月14日に足羽山朝日山不動寺境内にある旧笏谷石採掘坑に落ちて動けなくなっているニホンジカ雄1個体が確認された(図3b). 本個体は二又三尖の角の形状から2～3歳と推定され(阿部, 2005), 兎越山の個体と同一であると考えられた(写真3). 同月18日には福井市有害鳥獣対策室などにより捕獲され、採掘坑から引き揚げられた. これまで足羽三山においてニホンジカの記録は無く、本報告が足羽三山におけるニホンジカの初記録であると考えられる. ニホンジカは、雄と雌はそれぞれに群れを形成し、10月を中心とした発情期になると雄の群れは解散する(日高, 1996). 当該雄個体も発情期に伴って単独で行動していたものと考えられる.

ニホンジカの確認により、足羽三山で確認された哺乳

*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan



図1. 福井市足羽山 (a, b) および兔越山 (c-e) で撮影されたニホンザル. カラー版は福井市自然史博物館ホームページから閲覧可能.
Fig. 1. Photographed Japanese macaques in Mt. Asuwa (a, b) and Mt. Osagoe (c-e), Fukui City. Color photographs are available in Fukui City Museum of Natural History's HP.



図2. 2020年に福井市八幡山の東側 (a, b) および西側 (c, d) で撮影されたイノシシ。カラー版は福井市自然史博物館ホームページから閲覧可能。

Fig. 2. Photographed Wild boars in eastern part (a, b) and western part (c-d) of Mt. Hachiman in Fukui City in 2020. Color photographs are available in Fukui City Museum of Natural History's HP.



図3. 2022年に福井市兎越山 (a) および足羽山. (b) で撮影されたニホンジカ。カラー版は福井市自然史博物館ホームページから閲覧可能。

Fig. 3. Photographed male Sika deers in Mt. Osagoe (a) and Mt. Asuwa (b) in 2022. Color photographs are available in Fukui City in Fukui City Museum of Natural History's HP.

乳類は合計21種となった。足羽三山は周辺の連続した山地帯から10 kmも離れていない（西側の丹生山地から約3.7 km, 東側の越前中央山地から約6.8 kmで、いずれもGoogle Mapを用いて計測した直線距離）。近年では、これら大型哺乳類が市街地に出没する事例も全国的に多く発生している。特にニホンザルとイノシシは過去にも足羽三山において確認されており、周辺山地帯から市街地を抜けて足羽三山までは十分に到達可能であろう。今回確認された個体が継続して生息していたのか、それとも別の個体が散発的に出現しただけなのかは不明である。これらを把握し、個体群として定着する兆しを掴むためにも、そして市街地に囲まれているという立地上、被害防除の観点からも今後の継続した生息モニタリング調査が重要である。

謝 辞

神奈川県立生命の星・地球博物館の鈴木聡博士と福井市自然史博物館学芸員の梅村信哉氏にはニホンザルの、福井市有害鳥獣対策室には足羽山朝日山不動寺におけるニホンジカの情報および写真を提供いただいた。ここに記して御礼申し上げる。

引用文献

- 阿部 永監修, 2005, 日本の哺乳類[改訂版]. 東海大学出版会, p206.
- 出口翔大, 2023, 第88回特別展「あつまれ福井の動物たち～リスからタヌキ, イルカまで～」開催記念誌 福井の哺乳類大図鑑. 福井市自然史博物館, p68.
- 出口翔大, 2018, 足羽三山におけるニホンテン *Martes melampus* の初記録, 福井市自然史博物館研究報告, (65) : 75-78.
- 金剛晴彦, 2016, 福井市足羽山におけるホンドギツネ *Vulpes vulpes japonica* の撮影記録. 福井市自然史博物館研究報告, (63) : 77-78.
- 日高敏隆監修, 1996, 日本動物大百科<全11巻> 第2巻 哺乳類II. 平凡社, p135.
- 内藤由香子, 2010, 福井県における小型哺乳類の生息状況について. 福井市自然史博物館研究報告, (57) : 31-36.
- 鈴木聡, 2015, 夏秋季の足羽山における食肉類の捕獲記録. 福井市自然史博物館研究報告, (62) : 37-42.

Abstract

Japanese macaque *Macaca fuscata* and Wild boar *Sus scrofa* were confirmed between 2015 and 2020, in Mt. Asuwa, Mt. Hachiman and Mt. Osagoe, an isolated hill surrounded by urban areas, in Fukui City, Fukui Prefecture. Furthermore, a male Sika deer *Cervus nippon* was newly confirmed for the first time there in 2022.

Key Words

Japanese macaque, Wild boar, Sika deer